

令和6年度

東公民館事業報告書

目 次

令和6年度公民館事業報告	〈ページ〉
1 子育て親子支援	2 ~ 9
2 青少年体験チャレンジ活動	10 ~ 21
3 学びあい・人権・地域ふれあい	22 ~ 27
4 自主学習グループの育成援助	27 ~ 28
5 生涯学習奨励員活動支援	29
6 文化祭	30 ~ 32
7 地域づくり推進事業の協力援助	33 ~ 34
8 情報提供事業	34 ~ 36
9 各種団体事業の協力援助	37 ~ 38
10 地元教育機関との地域連携事業の取り組み	39
11 公民館利用状況	40

令和6年度公民館事業報告

1 子育て親子支援

すくすくおやこスクール「前期」

(1) ねらい

- ①子どもの成長に応じた食事、口腔内環境の衛生維持に対する知識を得る。
- ②保護者の食育に対する関心を高め、バランスの良い食事作りの知識を得る。
- ③親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。

(2) 対象等

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 定員25組
周知方法：公民館報、チラシ、ホームページで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	6/10（月） 10:00～11:00	お口の話と離乳食・ おやつの話	講義	スマイルキッズデンタル ケア新前橋歯科医院	8組 16人
2	6/19（水） 10:00～11:30	食育の話とクッキング	実技	東地区食生活改善推進 委員会 会長 富澤 理恵子	8組 16人
3	6/26（水） 10:00～11:00	絵本と遊ぼう	講義	前橋市読み聞かせグル ープ協議会 顧問 田子 智代	7組 14人

(4) 評価と反省

初回の講座では、プロジェクターを使った講義がとても分かりやすく、お母さん達の理解につながった。内容も子育てに直結する話で皆さん真剣な様子だった。歯科衛生士、管理栄養士、保育士さんが講師だったので、個々の役割で親子とても良い学びに繋がっていた。お子さん1人ずつの口腔内の状況確認は、成長過程でのよい機会となった。

食育の基本的な話は、日常生活の上でとても勉強になり、再確認できる良い機会となった。託児付きの講座は、お母さん同士、とても楽しそうに料理実習しておりリフレッシュの場となった。お子さんも一緒に試食は、とてもリラックスした良い時間となった。お母さんから託児付きの料理実習をリクエストされたことは、とても充実した講座であったと思う。

絵本と遊ぼうは、3回目の講座となり参加者同士が打ち解けている様子であった。ふれあい遊びで、歌ったり、スキンシップを図ることでお母さんとの絆も深まっている様子だった。絵本を題材にして、工作を作り、歌って遊ぶなど

ストーリー性もあり工夫された講座であった。

コロナ禍明けで、募集人数を増やしたが、初回講座ということもあり参加者が集まらなかった。周知方法を検討していきたい。



お口の話と離乳食・おやつの話



食育の話とクッキング



絵本と遊ぼう

すくすくおやこスクール「パパ・ママ講座」

(1) ねらい

- ①夫婦で講座に参加し、子育てについて学ぶことで夫婦の絆を深め、相互理解を促す。
- ②父親と子どものふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。
- ③子育てをする親が子どもと一緒に運動する機会を作り、健康増進を図る。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者（父母） 25組

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
7/28（日） 10:00～11:00	パパ・ママ講座 ～親子でたくさん体を動かそう～	実技	群馬医療福祉大学 准教授 鈴蘭幼稚園 園長 田中 輝幸	11組 37人

(4) 評価と反省

父、母、子どもで遊ぶ講座では、絵本やギターなどを活用し家族か1つとなつて体を動かしたり、歌ったり、元気にとっても楽しそうに学んでいた。お父さんが主としてお子さんを抱っこし、高い高いをしたりとても良いコミュニケーションがとれていた。お母さんがいる事で、子どもは、リラックスできみなさん笑顔で受講していた。お父さんは、子どもとの距離がとても近く日頃から育児に関っていることが想像できた。小さな子どもが両親と遊んでいる時の笑顔が印象的で、両親の愛情や絆を感じることができた。

参加者からこのような講座をたくさんして欲しいとリクエストがあり、今後も継続していきたいと思う。



ギターで遊ぼう



親子で高い高い

上川淵・下川淵・東 三館合同ベビープログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 概要

対象：第一子（令和6年2月29日～6月28日生まれ）と母親 10組

周知方法：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/28（水） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て支援 課職員 B P ファシリテーター	10組 20人

2	9/4 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			10組 20人
3	9/11 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			9組 18人
4	9/18 (水) 10:00～12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に			8組 16人

(4) 評価と反省

三館合同事業として開催し、今年度は、上川淵公民館（和室）を会場として実施した。

初めての子育てに不安のあるお母さんも多く、情報交換の場となりとても有意義な場となっていた。子育てに対しても不安解消されていた。回を重ねるごとに、お母さん同士の距離も縮まりお互いの悩みを解消していた。

毎回、異なる参加者とのグループ分けは、さまざまな角度から赤ちゃんについての大切な情報を聞くことができ、お母さんからも好評であった。

東地区からは、3組の参加があった。



子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子育て支援において必要な知識及び技術の習得。
- ②地域における子育て支援の実践活動の充実を図る。

(2) 概要

対象：保健推進員、民生・児童委員、主任児童委員

周知方法：保健推進員会及び民生委員・児童委員協議会宛に受講依頼送付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/28（水） 14:30～15:30	ホームスタートとは ～子どもの現状と支援～	講義	社会福祉法人みどの福祉会 地域貢献事業部 代表 丸茂 ひろみ	48
2	9/4（水） 14:30～15:30	乳幼児の一次救命処置	実技	日本赤十字社 群馬県支部 川田繁子	36

(4) 評価と反省

①「あずま子育てひろば」の担い手でもある民生委員、児童委員を対象に定例会後に実施した。

子どもの権利や貧困についての話は、具体的でとても勉強になる話だった。ホームスタートについて、知っている受講生はおらず、仕組みや実態についての話は興味深いものであった。これから前橋でもホームスタートが始まる事をこの場で知ることが出来た様子だった。子ども達を取りまく様々な現状を把握して、今後の地域での活動や子育てボランティアとして役に立つことを期待したい。

②「あずま子育てひろば」の担い手である保健推進員を対象として定例会後実施した。乳幼児の救命処置は、初めての方が半数以上おり、孫を持つ祖母の立場としてもとても良い学習の場となっていた。幼児と乳幼児の人形を使っ
ての講義は、とてもリアルで実践的で身に付く学習となった。受講生からも高い評価であった。講座で得た知識を、今後の地域活動や日常生活、子育てボランティアとして役立てていただけることを期待したい。



ホームスタートとは



乳幼児の一次救命処置

すくすくおやこスクール「中期」

(1) ねらい

①参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。

②親子でふれあうことにより、親子の絆を深めるとともに親子で思い出りする。

③体を動かすことで、親子共にリフレッシュし健康増進を図る

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 定員20組

周知方法：公民館報、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/18（金） 10:00～12:00	ふれあい遊びと手形足形アート	実技	Petapeta-art 認定講師 坂本 ゆきえ	18組 36人
2	10/24（木） 10:00～11:00	子育て井戸端会議	講義	講師 飯塚 由里	15組 30人
3	11/11（月） 10:00～11:00	親子で楽しくフィットネス	実技	A J A全日本ヨガ協会 J A F A日本フィットネス協会 講師 桑原 一美	14組 28人

(4) 評価と反省

今回の講座は、定員20組募集したところ、25組の応募がありとても人気だった。

1回目の講座は、前半後半に分けて作品作りをした。前半のお母さんのお子さんは後半のお母さんが面倒を見るという形で行った。お子さんを通してお母さん同士の交流ができ、お子さん同士もおもちゃで遊びながら交流することができた。2時間と長い講座ではあったが親子で作上げた作品は、とても思い出に残るもので評価の高い講座となった。

2回目の託児付きの講座は、離れ離れになったお母さんは心配そうでしたが、お母さんのところに来るお子さんもいなくて、穏やかな気持ちで講座に参加できていた。お母さん同士がはじめてから打ち解けていて話の盛り上がりにつながっていた。お子さんが託児という事でお母さんのリフレッシュとなり、少し力を抜いてお子さんと向き合おうと思える講座であった。

3回目の講座は、お母さんの産後のシェイプアップに繋がる動きもあり、健康増進、心のリフレッシュに繋がる講座となった。フィットネスでは、抱っこされているお子さんは、お母さんの動きが気持ちよく寝てしまう姿が多かった。ヨガでは、呼吸法を中心に学んだ。お金のかからない、一番リラックスできる呼吸法を教わり、今後の生活にも取り入れられる有意義なもの

なった。

3回連続講座は、同年齢のお子さんのふれあいや、お母さんの情報交換の場となり評価も高く、継続していきたいと思う。



ふれあい遊びと手形足形アート



子育て井戸端会議



親子で楽しくフィットネス

すくすくおやこスクール「後期」

(1) ねらい

- ①保護者の保育力を高めるため、親子のふれあい方や遊び方について学ぶ。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③本事業は東公民館と昌賢学園群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者 20組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	1/7（火） 10:00～11:00	絵本は楽しい!! ～絵本と遊ぼう～	実技	群馬医療福祉大学 教授 田中 浩之	17組 36人
2	1/22（水） 10:00～11:00	子どもの発達について！ ～赤ちゃんってかわいいな～	講義	群馬医療福祉大学 准教授 八十田 晶子	16組 33人
3	1/29（水） 10:00～11:00	リズムに合わせて体を動かそう♪	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	16組 32人

（４）評価と反省

定員 20 組のところ 23 組の応募があり、全組参加とした。

今年度、最後の講座となり皆さん顔見知りになっている感じだった。

託児付きの講座は、お子さんの事を心配しながらも、自分の事を振り返ったり、お母さん同士で意見交換したりとても良い時間となり、リフレッシュできたと参加者から話をいただいた。託児があることで、座学に集中している様子だった。地域連携で大学の先生から教わる様々な内容は、とても説得力があり参加者から高評価であった。講師の先生も、お母さん目線に気を使っていたいており、受講しやすいものであった。



絵本の楽しい



子どもの発達について



リズムに合わせて体を動かそう♪

2 青少年体験チャレンジ活動

青少年体験・チャレンジ活動「育成指導者講習会(育成会役員対象)」

(1) ねらい

子どもたちの自発性や創造性を生かしつつ、これを見守り、指導助言していく子ども会育成指導者を組織的に養成し、その資質向上を図ることにより子ども会の活動を一層充実させ、進行発展を図ることを目的とする。

(2) 対象等

対象：東地区子ども会育成団体連絡協議会 各町育成会役員、本部役員

周知方法：育成会長会議に参加希望資料配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	4/20（土） 10:00～11:40	危険予知トレーニングについて レクリエーション及び バルーンアート講習会	講義 実習	市子連 岡本先生、須賀先生	37

(4) 評価と反省

KYT講習会では命を守る安全教育として話され、KYTシートを使ってどこが危険か、注意点等を受験生に投げかけ考えながら学びました。休憩を挟んで、実技講習会ではじゃんけん大会、レクの進め方、遊び方について実際に行って、遊びの中でも危険なことがある注意点を学びました。バルーンアートでは、「ねずみ」「犬」「剣」の作り方を教わりました。時間がないなか、たくさん詰め込んだ講座内容でしたが、皆さん楽しんで学ばれた様子で良かったと思います。また、大人向けでしたが、子どもを連れてきて良いとお話したので、気兼ねなく参加できたのも良かったと思います。大人もとても喜ぶ講習会で、これからの各町の子ども会行事に役立てればと思います。



レクリエーションを学ぶ



バルーンアート講習会

青少年体験・チャレンジ活動「インリーダー講習会」

(1) ねらい

小学校5、6年生を対象に共同生活を通じて、団体活動を経験するとともに、子ども会リーダーとしての資質の向上を図ることを目指します。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども会 小学生5年生、6年生

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/13（土） 9:00～11:30	インリーダー講習会 「マイ・タイムライン講座、地震体験車訓練」	講義 実習	市防災危機管理課職員 東地区子育連本部役員 育成会役員	73

(4) 評価と反省

講師の話を聞きながら、また、役員のスマホやタブレットを確認しながら東地区の川の流れなどを確認して時間経過を推測し、必要な物の確認、自宅の周りの確認の仕方を学んだ。地震体験車の体験は時間がかかると言われたが、むしろ予定時間より早く終わり、子ども達が2回地震体験をすることが出来た。

また、本部役員や子どもの迎えに来た保護者も体験することが出来たが、体験車のイスや家具は固定されているが、実際はいろいろな物が動き出し、運が悪ければ家ごとつぶされると思うと楽しいと思えない気持ちだった。しかし、知ることと知らない事では大差があるので、参加することが重要で、楽しんで学んでもらえたので良かったと思える。災害などにあっても、みんなが知識を深めて、少しでも悲しみを減らしていければと思う。



自宅の位置確認



地震体験車で震度7を体験

青少年夏休みチャレンジ教室「寺子屋スロー数学」

(1) ねらい

- ①小学校5年生からの児童、生徒に向けて学校では体験出来ない数学の世界を紹介することで、算数好きな子供達になお一層の興味、向上心を持たせる。
- ②ご家族での参加も可とし、保護者の方に子供達の探求心、追究心を一緒に感じてもらう。また、子供達の粘り強い心の成長を養い、今後の学習の一助とする。
- ③対象者を小学校5年生以上としたことから、様々な年代の参加者による世代間交流の場を提供する。

(2) 対象等

対象：東地区在住の小学生5年生以上（保護者も参加可）

周知方法：公民館報、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/27（土） 10:00～11:30	寺子屋スロー数学 「分数を小数にすると現れる数字の謎！！」	講義 実習	群馬高専 名誉教授 斎藤 斉	15

(4) 評価と反省

今回は「分数を小数にすると現れる数字の謎」について学習した。分数と小数、それぞれが果たしてきた歴史的な役割を学びつつ、分数、小数の関係性のおもしろさに触れることができたと思う。内容的に小学生には少し難しい部分もあったように感じたが、数学の世界に興味を持つきっかけになればよいと思う。なお、今回は、年齢の上限を設けずに募集を行った結果、大人の参加が8名あった。様々な年齢の参加者がいることで世代間交流が図れたように思う。



講座の様子

夏休み青少年チャレンジ教室

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、地元学生の協力のもと夏休み中の課題学習の場を提供し、苦手課題の克服の仕方を習い、自らの感性を養う。
- ②教室を通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生児童を対象とする。

周知方法：公民館報、学校へのタブレット配信で募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/26（金） 10:00～11:30	楽しいリサイクル工作 「キュービックパズルを作ろう」	実習	南橘リサイクルの会 のみなさん	12
2	8/1（木） 10:00～12:00	こども将棋教室	実習	地域指導者 田村盛好、坂部光夫	17
3	8/6（火） 9:30～11:30	絵画教室	実習	群馬医療福祉大学 学生のみなさん	19
4	8/7（水） 10:00～12:00	バルーンアート教室	実習	地域指導者 田子智代	14

(4) 評価と反省

「キュービックパズル作り（簡単なルービックキューブのような物）」は、工作を始める前に講師が自己紹介をし、子ども達に順番に紹介させた。みんな恥ずかしがっていたが、がんばって自分の好きな食べ物、好きな物を話し、拍手をもらっていた。異なる学校、異なる学年だが、みんな仲良く牛乳パックを切って、パズルを作っていた。また、余った底の部分でぶんぶんゴマを作ったら、さらに喜び、夢中になって回していた。こんなに喜んでもらえると、講師も担当もすごく幸せな気持ちになった。

「こども将棋教室」は、定員を大幅に超えての申し込みがあった。子ども達のレベルで対戦相手を決めて、勝負をしていた。ケンカを始めてしまう子に「盤上の勝負は良いが、言い争いのケンカは良くない。勝負は将棋で行ってください。」と注意され、物を大切に扱って欲しいともお願いした。人気のある教室なので、ルールを守って楽しく参加できるようにしたい。

「絵画教室」は群馬医療福祉大学の学生ボランティア4名が、アドバイスを子ども達に寄り添い、制作のお手伝いをしてくれた。とても気配りの出来る学生さんたちだったので、子ども達の評判も良く、飽きて騒ぐ子も今年はいなくて安心した。今年は申し込みの際に、保護者に注意喚起した事、また、時間が余る子は本や宿題を持って来て欲しいとお願いした事で子ども達も安心して参加できた。とても人気の高い講座なので、学生が良ければ2回は実施できるようにしたい。

「バルーンアート教室」は、初めにネズミを作成し、しっぽをつかんで飛ばし合いをした。その後、風船をつなげて「じゃんけん列車」をしたり、ペンギンづくり、剣を作った、最初、出来るかなと心配したが、難しいのは、風船の端を結ぶことだけで、結んであげると、自分でねじったりして完成させていた。写真を見ると難しそうだが、小さい子も一人で作った。迎えの保護者が作品の素晴らしさに驚いていた。この子たちが、地域の行事等でバルーンを作って、活躍してくれればいいと願った。



キュービックパズルを作ろう



こども将棋教室



絵画教室



バルーンアート教室

青少年健全育成会事業 親子手作り教室「しめ縄づくり」

(1) ねらい

- ①昔からの伝統を受け継ぎ、季節を重んじた「しめ縄づくり」を通して、日本古来の風習を学ぶ。
- ②しめ縄づくりを通して親子の絆づくり、他の子との連携や協調性を学ぶ。

(2) 対象等

対象：東地区内の子ども及び保護者（子ども会）

周知方法：子ども会育成会を通じてチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/9（土） 9:00～11:00	親子手作り教室 「しめ縄づくり」	講義 実習	地域指導者 稲葉 武 東箱田後家町有志 東地区子育て連本部役員	106

(4) 評価と反省

今年はコロナが落ち着いたことと、外が寒かったのでホールでの開催になった。今年は講師の他、協力者もいて、子ども達も安心してしめ縄づくりを作成することが出来た。インフルエンザやコロナも流行りだし、応募より少ない人数での開催になったが、それでも大勢の子ども達が参加した。近年、わらの調達も難しくなっており、伝統を継承することが難しくなってきたが、講師のおかげで開催することが出来た。本当に感謝したい。



講師の説明



しめなわ作りの様子

東地区青少年推進員会「小中学生スケート教室教室」

(1) ねらい

- ①地域の子どもたちが学ぶ機会を設け、自ら学ぶ姿勢を身に付けること。
- ②体験学習を通じて、子どもの主体性やコミュニケーション力の向上を図る。
- ③子どもたちが身近にある自然に興味を持ち、面白さと大切さを知る機会を設ける。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生、中学生（保護者も可）

周知方法：公民館報にて募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	2/8（土） 9:00～12:00	スケート教室	講義 実習	東地区青少年推進員会 推進員 貝瀬 久 金井 宏 山田 貴之 田村慎太郎	24

(4) 評価と反省

中学生も募集したが、小学生のみの参加となった。青少推の貝瀬さんがスケートを教えたいということで定例会にて提案したら、金井さんもスピードスケートの選手だったことが分かり、山田さんも田村さんもスケートを教えられることが分かり、本当に地域には様々な人材がいるのだなと嬉しく思った。

会場は関根町のアイスアリーナは少し遠いので参加者がいるか心配だったが、館報発行日にかなりの反響があり安心した。初めての子は補助用の道具があり、安心して滑ることが出来た。そして、子どもたちは習得が早く30分位で、全員滑れるようになった。しかも、1回転やバックスピンまで出来る子もいた。一人、残念ながら捻挫してしまったが、それでも、参加して良かったと喜んでくれた。これをきっかけにいろいろな事に挑戦して欲しいと思う。



1回転やバックスピンの練習



みんな一人で滑れます

【インリーダー講習会感想（R6）】

- ・シェイクアウト号に乗って震度7を体験したのが一番おもしろかったです。ですが振動がなくつまらなかったのも、今度はもっと面白くしてください。
- ・水害はとてもこわいことがわかった。自分のペースでうごくことがたいせつだなと思った。ひごろからじゅんぴしたりたいせつなものは2かいにうごかしたりしたいと思った。
- ・じしんたいけん車がこわかった。
- ・しんど7はすごくゆれた。
- ・マイ・タイムラインはないと、お亡くなりするかのうせいがあるとした。自分の家の場所は0.3～5.0mまでくるから台風がくると大変になると知った。あと、どこににげるか分かった。家にかえったら、ぼうさいグッズを用いしておきたい。
- ・友だちとも情報（ハザードマップ）でしらなかったことをこうかんしたい。親や家族とひなん場所をかくにんしたい。じしんなどのきけんや、水のきけんをしれた。
- ・地しんのこわさが分かりました。地しんの備えをこころがけていきたいと思います。今日まなん学んだことをこれからに生かせいきたいと思います。
- ・しんど7をたいけんしてたら、つくえににのうでにあたっていたかったけど、めっちゃたのしかった。しんど7はこわいとおもってたからドキドキしてたらこんなにこわくなかった。
- ・地しんのきょうふさと、マイ・タイムラインの大切さが分かりました。しんど7と後にもう一回しんど7がくるのが分かりました。意外としんど7がけっこうゆれました。
- ・外から見た時よりもすごく怖くてこわくて、しんど7はたってられないぐらいだとよく分かりました。また、7以上のじしんが外国にはあると知り、あらためてじしんはすごくこわいものだと感じました。
- ・しんど7が思った以上に強くて、いっしゅん死んでしまうかと思い、とてもこわかったです。改めてじしんは起こってほしくないと思いました。
- ・水害やその他の災害が起きたときにどこに逃げ、何を持っていけばよいか分かりました。地震体験車に乗ったときは震度7がどれだけすごいかが分かりました。
- ・授業では少し聞いただけだけど、マイ・タイムラインを作ることが必要ということが分かった。少し立ててみてどうゆう行動するかの順番が分かった。とてもゆれが大きくて楽しかった。またやりたい。
- ・この学習をしてみて、風水害はとてもこわいものだとしりました。マイ・タイムラインがあるとないのではぜんぜんちがうと知れました。しんど7のじしんをたいけんしてみてすごいゆれてるなとおもった。
- ・じしんはこわいんだと思いました。橋や建物をこわすほどのじしんはすごいんだと思いました。他にも台風や大雨は町をのみこむほどの大雨がふるんだとおそろしく思いました。火事もさい害の一つだと知りました。そのためにたいさくをするのだと思いました。

・私は風水害に対して改めて怖い災害だと思いました。特に台風10号などによる土砂災害のひがいなどを見るとこんなことがあったんだなと思います。

・しんど7の体験ができてよかったです。このじしんがねている時や、料理をしている時だったら、とてもあぶないと思いました。なので、常に用意しておかないといけないと思いました。

・風水害がとても怖いことが分かった！日ごろからの備えがとても大切なことが分かった！もし、災害が起きたら一人でも行動できるように家の人とハザードマップを見たり備えたりしたい！ここで習ったこと、勉強を通してこれから活かしていきたいです！すごく良く勉強できたと思います！

・地しん体験車に乗ったら思った以上にすごくびっくりしました。こうずいについても家でしっかりかくにんしたいです。

・ためになった。とてもいいべんきょうになった。はじめて知ったこともあった。楽しかった。はじめて来たけれどもとても楽しくいいかんじだった。すごくたのしかった。

・インリーダー講習会に参加して、ぼくは自然によって引き起こされる風水害や地震災害などはとてもこわくて、いつ起こるかわか分からないので、日ごろから準備をしておくことが大切だと思った。

・地しん体験車にのってしんど7をたいけんしてじしんの大きさが大きいことにきづきました。ぼくもそなえて早くひなんできるようにしたいです。

・水ってこわいな～と思いました。じっさいに車で体験した時に、すごくしんからゆれる感じがして、すごかったです。

・今日、改めて風水害のことを知って、こわいと思いました。これからは、自ぜんさいがいにつけて、いつさいがいもおちついて正しいはんだんをしてこうどうこうどうしたいです。

・地しんにたいけんをしてしんど7がこんなにすごいと思いませんでした。この会でタイムラインを知ることができた。台風や地しんのかのうせいがあったらタイムラインをしておく。

・風水害のときは東小は聞かないことが分かった。マイタイムラインがかなり作れた。家でつづきを作りたい。

・じしんたいけんしゃでは、どんどんしんどがたかくなってたのしかった。

・災害が起きた時マイ・タイムラインをすぐ見れるようにしておきたいです。意外とゆれてこわかったです。今回は地震が来ると分かっていたけれど実際分からないから地震が来たら冷静な判断をしてひなんしたいなと思いました。今日、学んだことを災害が起きたときに生かしたいです。

・地震は全ての前橋の小、中学校が開くことや水害などは箱田中とず東中しか開かないことがわかりました。

・家にかえったら今日のことはなして、家ぞくでじゅんびして、いつじしんがきてもだ

いじょうぶなようにじゅんぴをしたいと思いました。こわいけど、いつかはくるからちょっとこわいなあとと思いました。じしんがおきたときは、あわてないでおちついてこうどうをしていきたいです。トラックにのって、カウントダウンがなかったらこわいなあとと思いました。いいたいけんができました！よかったです！

・マイ・タイムラインなんて初めて知った言葉だったけど、ちょっと前に家で食料とかタオル、電池を準備しといて良かったなと思いました。いつさいがいが来るかは分からないから、やっぱりいつ来るか分からないことがこわいなと思いました。これからもちゃんとさいがいに備えて色々準備をしようと思います。

・地しんのしんど7があんなにゆれるなんて思っていなかった。マイタイムラインなどきょうならったことをならったことを思い出し、さいがいにそなえてすごしたい。

・地しん体験車にのってじしんてこんなにこわいんだと改めて感じました。あとはマイタイムラインなどをつくったので水さい害の時はそれを見て行動したいです。

・水害も地しんもとてもおそろしい事だと分かった。しんど7は想像い上にゆれていた。自分もこれから災害が起きた時に、そなえは大切だと分かった。これからもそなえを大切にしようと思った。

・この会でタイムラインを知った。警戒レベルは「5」まであることを知った。

・家に帰ったらこのことを家族に伝えていつ洪水がおきても大じょう夫なようにしておきたいです。家に帰ったらマイタイムラインをかんぜんに完成させておきたいです。地しんたいけん車に乗ってしんど7が家でおきたらとてもこわいことがわかりました。

・地しんも水害もそなえる事が大事。マイタイムラインは大切だと思った。

・マイ・タイムラインを今日、べんきょうしてたくさんのことをしりました。それをやっておくことで、自分の身を守るのだな～と思いました。

・じしん体験の感かくは、ゆるいジェットコースターにのっているようでした。マイ・タイムラインでは、いろいろなことがわかっておもしろかったです。

・私は、この講習会を通して風水害、地しんのおそろしさを学びました。一番心に残ったのは自分の家がしん水によって、こわれてしまう可能性があることです。このことがわかったからには今日知ったことを親に話し、対策します。

・じしんたいけん車のしんど7が思ったよりもゆれたのでこわかったです。

・マイ・タイムラインを作成できてよかった。じしんたいけん車では、しんど7のときの家にいるときをたいけんでき、たのしみもあつたがあれが生活の時におきたらこわいなとも思いました。

・インリーダー講習会に参加して、地震や風水害のこわさについて知ることができた。群馬県では、たまたま災害が少ないけど、とつぜん地震などがおこることもあるから、「マイ・タイムライン」を完成して災害が起きた時にいかせたらいいなと思った。

・かたがあたっていたかった。しんど「7」だともものすごくゆれていて、これがずっとつづくとおもうとぞくつとする。マイ・タイムラインにそってきちんとしたい。

- ・風水害の時は、東中と箱田中だとわかった。川の水量を見る時は、自分の家より上の川を見ることや、しんど7のをたいけんすることができました。タイムラインで、どこへ行った方がいいのか、警戒レベル1の時はなにをしたらいいのかをきめました。
- ・しんど7のじしん体験が想像以上にとってもこわかったです。これがもしねてる間におきたら・・・と思うと鳥はだかヤバいです。しかも二段ベッドなので、もっとヤバいと思います。マイタイムラインも完成させようと思います。
- ・雨がふるといつもおちついたままでした。ですが、マイ・タイムラインをつくったおかげで、いざというときににげたり、情報を見ることができます。また、自分の家がどれだけきけんか分かりました。自分に必要なものが確認できました。体験してみたら机にうでをぶつけました・・・。
- ・じしんを体けんできた。しんど7はいじょうだったです。ふうすいがいについて分かった。じしんについても分かった。あたらしい友達もできた。あたらしいたいけんができた。
- ・今日は風水害を勉強して、そのこわさがとても伝わった。今日勉強したことを、本当におきてしまったときにあわてずに計画通りしたい。
- ・全力でにぎっていてもイスがどんどんうしろに下がって行ってかたのへんがいたかった。
- ・マイ・タイムラインができた。地震体験車も思った以上にゆれがはげしかった。
- ・強度7だとかたとうでがいたい。はしらがあつたけど、なかったら死んじゃっていたかと思う。一度おさまったけど、もういっかいくるかもしれないという気持ちをわすれてはいけない。なんかおわったらおもしろかった。ふしぎ・
- ・中でえいぞうを見て、自分の家がこうなったらと思うとこわくなりました。
- ・ひなんかんこくがでてなくても自主ひなんも大切。かわみるぐんま、ぐんまテレビのdボタンで川の水位が見れる。こわいこわいこわいこわいこわいこわいこわいこわいこわいこわい。
- ・かたに当たっていたかったけど、こんな急にじしんがくるのがこわかったです。ドキドキした。このことを知らない人はもっといたい目にあつたということが実感できた。
- ・マイタイムラインをつくって、マイタイムラインをつくることは、とてもだいじだと思いました。
- ・マイタイムラインをかえってから、いえでやりたいと思った。
- ・じしんやその他のたいさくがグッズのなにをもっていくかがわかったと思いました。じしんがやばいことがしつた。
- ・楽しかった。
- ・川の水位の情報は群テレdボタンや、かわみるぐんまが最適。うちに高れい車はいないので、警戒レベル4にすぐにひなんする。(できれば3で)～地震体験車にのって～足がガクガクしたので「私はジェットコースターに乗っている！！」と言い聞かせました・・・。
- こわかったです。
- ・くわしく知れてよかったです。
- ・インリーダー講習会に参加してマイタイムラインを作れてよかった。他のこともいっぱい

い知れたので、これからに生かしていきたいです。

・震度7が思ったよりゆれが強くてびっくりした。最初からつかまってたから良かったけど、あれが急に来たら本当に立ってらんないなと思った。「ひなんする」と聞くと他の所に移動する感じがするけれど、自分の家の2階にひなんすることもあるんだなと思った。

・インリーダー講習会に参加してみて、こう水のおそろしさがわかりました。台風がきたら自分の家の二階にひなんして、きょうなものはわすれずにもっていったり、なるべく大荷物でいくことがたいせつだとわかりました。

・あらためて、地震と水害のおそろしさが分かりました。とにかくこわかったです。

・しんど「7」は、けいけんした事なかったので、こわかったです。今は、3，2，1できたけど、本物は急にくるからと～てもこわいです。

これをもって、しんど7がきたときは机やいすの下にかくれたいです。

・シェイクアウト号にのって、しんど7がこんなにゆれるなんてとてもびっくりしました。大きいゆれのときは、ぼうにつかまってじぶんの命をまもりたいです。

・シェイクアウト号に乗って一番最初でだんだんうしろにいていろんな所がうごいておもしろかった。

・ためになった（災がい）。

・災害のことについて分かり、災害がおこるまえに準備しておこうと思いました。

・マイ・タイムラインを使えば、いつどこにひなんするのかがわかり、すばやくひなんできる。雨が強くふりだしたら、ひなんするじゅんびをしたりするのがよいと分かった。

水害時どう動く？ 児童が講座で学ぶ

前 橋

水害などが予想される場合に取るべき行動を時系列順にまとめた「マイ・タイムライン」を作る講座が13日、前橋市の東公民館で開かれた。東地区の小学5、6年生73人が参加し、災害に備えることの大切さを学んだ。写真。

市が県と共同で製作した子ども向け冊子「まえばしマイ・タイムライン」を教材に、市防災危機管理課の職員が講師を務めた。児童は、台風が近づいている時にはむやみに外に出ないことなどをクイズ形式で学習。県の河川防災情報サイト「かわみるぐんま」で、自宅の災害リスクを確認し、自分と

家族の避難方法を考えた。大利根小5年の井草陸さんは「2歳の弟がいるので、災害時に何を持って行くべきか家族と話し合いたい」と語った。東地区子ども会育成団体連絡協議会が主催した。（須永彪月）



上毛新聞

7月14日(日)掲載

3 学びあい・人権・地域ふれあい

学びあい

第1回東ビブリオバトル

(1) ねらい

- ①書評を通して参加者のコミュニケーション能力を高める。
- ②読書の楽しみを共有し、世代を超えた参加者同士の交流の機会とする。

(2) 対象等

対象：東地区住民等

周知方法：館報へ掲載、チラシ配布、地区内小中学校へチラシをすぐーるにて配信等

会場：東公民館 ホール

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/23(日) 10:00～11:00	<ul style="list-style-type: none">・発表者は紹介したい本を用意する。・発表者は一人5分間で本を紹介する。・各発表後に全員でその発表に関するディスカッションを3分間行う。・全ての発表終了後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準にして全員で投票を行い、チャンプ本を決定する。	発表	特になし	発表者 6人 観戦者 17人

(4) 評価と反省

市内他地区の公民館でも開催されている「ビブリオバトル」を東地区にて初めて開催するもの。発表者（5人）と観戦者（30人）を募集するにあたり、特に発表者の応募があるかどうか心配したが、6人が応募してくれた。なお、現在、観戦者は17人である。桂萱公民館ビブリオバトルを開催した担当職員が観戦者として、参加してくれることになっており、助言をもらいながら開催する予定である。

人 権

「人権講座」～誰もが自分らしく生きられる世界に～

(1) ねらい

- ①人権週間に併せて開催することで、地域住民の人権意識を高め、人権感覚を養い、理解を深める機会とする。
- ②地区内中学校を会場とすることで、保護者と地域住民と生徒と一緒に学ぶ場となる。
- ③人権の意義や重要性について改めて考える。

(2) 対象等

対象：箱田中学校生徒・保護者・地域住民

周知方法：館報へ掲載、館内へチラシの設置

会場：箱田中学校 体育館

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/4 (水) 14:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・人権とは ・自分の生き方は自分で決められる。 ・合理的配慮について ・誰もが生きやすい世界に向けて今日からできること 	講義	一般社団法人ジェンダー総合研究所 共同代表 安藤 真由美	340

(4) 評価と反省

今年度、箱田中学校の学校評議員を務めさせていただいているご縁から、箱田中学校の人権学習週間の期間中に公民館との共催で開催した。保護者や地域の方へも参加を呼びかけ、少人数ではあったが全校生徒とともに一緒に聴講していただくことができた。生徒の皆さんは講演を静かに真剣に聴いてくださり、的を得た質問も出していただけたので、人権感覚を身に付けるきっかけになっていたら嬉しく思う。日頃から意識することが大切な事柄であるので、今後も折に触れて人権への学びに触れる機会を作って行きたい。



「手をつなぐ作品展・人権標語展」の開催

人権週間に合わせて地区内小中学校5校の児童・生徒に人権標語を作成していただき各学校から優秀作品を選出して館内住民交流スペースに約1か月間【令和6年12月20日（水）～令和7年1月6日（月）】展示することで、子どもたちの人権教育学習成果の発表と地域の人権意識向上を図った。

また、併せて前橋市手をつなぐ育成会主催の「手をつなぐ作品展」を同期間で開催し、障がい者の方々が作業所で制作した製品などを多くの来館者に見ていただいた。期間内の1日（令和6年12月25日（水））には「地域活動センターこころ」の作品販売を初めての試みで実施したが、民生委員の定例会と時間が重なっていたため、地域の皆さまにも活動の様子を知っていただき、作品を購入していただく貴重な機会となった。



手をつなぐ作品展(物販の様子)



人権標語展

地域ふれあい

東クローバー教室「レクダンスで楽しく健康づくり」

（1）ねらい

- ①高齢社会の中で、心と体がともに健康である生活が送れるよう支援する。
- ②地域社会との連携を活かした学習機会をつくり、自らの健康といきがいの充実を図る。
- ③学んだ成果を東地区市民運動会で披露する。

（2）対象等

対象：①③東地区老人クラブ連合会役員

②④⑤東地区在住60歳以上の方

周知：公民館報、老人会への回覧

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/19(月) 9:30～11:30 会場 東公民館	【1回目】 ・モーニングストレッチで音楽に合わせて身体をほぐした後、市民運動会で披露するために「サーカシアン・サークル」と「さわやか群馬」の練習を始める。 ・一つずつ動きをご指導いただき、通しての練習を繰り返す。 【2～4回目】 ・各町の公民館で第1回目と同様の流れで実技指導を行う。 【5・6回目】 ・4回目までの総復習と仕上げ、運動会当日の入場の仕方やフオーメーションの確認を行い終了する。	実技	レクダンス 指導者 鈴木 恵子 協力者 割田 利江 山木 範子	52
2	8/26(月) 9:30～11:30 会場 大利根公民館				19
3	9/9(月) 9:30～11:30 会場 上新田公民館				26
4	9/30(月) 9:30～11:30 会場 新前橋公民館				26
5	10/7(月) 9:30～11:30 会場 東公民館				71
6	10/21(月) 9:30～11:30 会場 東公民館				80

(4) 評価と反省

5年振りの東地区市民運動会で披露することを目標とした講座を開催した。総勢116名の申し込みがあり、地域の方たちの関心の高さが伺えた。ベテランの鈴木先生が、1回の受講でも覚えられるような優しいメロディのイギリス民謡を選んでくださったので、1回でもほとんどの方が振り付けを覚えて踊れるようになった。

高齢の参加者が多かったため、休憩を多めにとって無理なく進行していただいたので、参加者同士が交流することもでき、終始和やかな雰囲気講座となった。運動会での練習成果の発表も楽しく実施できたようである。



レクダンス全体練習の様子



分散会場での練習の様子

東クローバー教室

(1) ねらい

- ①高齢化社会の中でも前向きに過ごせるようないきがい作りのきっかけとして、地域社会との連携を活かした学習機会の場を提供する。
- ②学んだ成果が日常生活の中で活かせるよう講座終了後も支援する。
- ③東地区老人クラブ連合会に協力を依頼し運営委員会を組織することで、参加者に活動の様子を知ってもらい会員増につなげる。

(2) 対象等

対象：東地区在住60歳以上の方

周知：公民館報、老人クラブ連合会へのチラシ回覧

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/19（火） 10:00～12:00	「ドローン活用の今を学ぼう！」 様々な場面で活用されているドローンの現状を、実演を交えながらご紹介いただきました。	講義 実習	群馬 Crane Drone Shields 岡田 晃二（講師） 大本 奈緒美（協力者）	18
2	11/26（火） 10:00～11:00	「成年後見制度について知ろう！」 認知症や障害をお持ちの方が安心して生活するため、法的にサポートする制度についてお話を伺いました。	講義	前橋市社会福祉協議会 生活支援係職員 高村 いくみ 氏 北川 智大 氏	24
3	12/3（火） 10:00～11:00	「相続制度のよもやま話！」 今年度改正があった相続制度について詳しく解説いただき、いざという時に慌てないよう知識を深め、遺言状の書き方についても触れていただきました。	講義	東地区老人クラブ連合 会会長 行政書士 竹之内 孝之 氏	23
4	12/10（火） 10:00～11:30	「多肉植物寄せ植え体験！」 お手入れが簡単でうちで気軽に楽しめる多肉植物の寄せ植えを体験しました。	講義 実習	Hanana_ta29 原島 春奈 氏	23

(4) 評価と反省

東地区老人クラブ連合会の全面協力の下、多様な学びの機会を提供できた。どの参加者も熱心に受講してくださり、各回活発な質問等も出て参加者同士の交流もできたように見受けられ、ねらいも達成できた。



①ドローン活用の今を学ぼう！



②成年後見制度について知ろう！



③相続制度のよもやま話！



④多肉植物寄せ植え体験！

4 自主学習グループの育成援助

(1) ねらい

- ①自主学習グループ会員の増加と活動意欲の向上
- ②自主学習活動の地域へ向けた広報の強化
- ③自主連協会員相互の情報交換の活発化

(2) 対象等

対象：東公民館自主グループ連絡協議会各グループの会員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/1(日) ～9/30(月)	サークル見学・体験月間	見学体験	自主学習グループ	23 団体
2	1/20(月) 14:00～15:00	新春研修会 「防犯講座～身近な防犯 知識～」	講義	前橋市職員 共生社会推進課 園田 眞也 氏	41 人

(4) 評価と反省

サークル見学・体験月間は、参加希望の団体を対象に、通常のサークル活動時間に参加者を受け入れ自由に見学や体験をしてもらった。自主連協33団体の内23団体が参加した。広報活動支援として、館報、市ホームページに記事掲載のほか、参加グループの紹介ポスターや一覧表を作成し館内に掲示配布した。今後も実施を希望する声が多くあり、概ね好評だった。

新春研修会は、「防犯講座～身近な防犯知識～」と題し研修会を行った。全国や県の犯罪の発生状況や、最近発生件数が増えている犯罪状況のほか、最近ニュース等でよく耳にする特殊詐欺等について話があり、普段の生活で気をつけるべき点を確認でき、大変有意義であった。また、身近な防犯知識ということで、地域の防犯活動としてすぐにできる普段心がけることについて話があり、多くの方が実践されるとありがたいと感じた。



サークル見学・体験月間
グループの紹介ポスター



新春研修会

参考：自主グループ連絡協議会行事

回	月 日	内 容	参加者等
1	4/15 (月)	総会	51 人
2	5/20 (月)	代表者会議	44 人
3	11/9 (土) 10 (日)	東公民館文化祭 舞台発表作品展示	21 グループ 13 グループ
4	12/16 (月)	東公民館大掃除	46 人
5	1/31 (金)	東公民館自主連協だより「なかま」第33号発行	2000 部

5 生涯学習奨励員活動支援

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員等が、地域や町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とする。
- ②地域における学習課題を考え合い生涯学習推進を図るための一助とする。

(2) 対象等

対象：東地区生涯学習奨励員、自治会長等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/15(金) 8:30～17:00	視察研修 富岡市／甘楽町方面 （群馬県立自然史博物館、 富岡製糸場、楽山園）	視察見学	施設担当者 観光ガイド	23
2	3/21(金) 10:00～11:30	「女房とは何か ～『源氏物語』を支えた女性たち～」	講義	群馬工業高等専門学校 一般教科人文国語科 准教授 博士（国語） 太田 たまき 氏	

(4) 評価と反省

第1回の視察研修では、富岡市、甘楽町の各施設を学ぶ実りある研修となった。ガイドのある施設（富岡製糸場、楽山園）では、分かりやすい解説で、参加者は熱心に聞き入っている様子であったが、ガイドのない施設でも係員に話を聞くなど、熱心に学習している姿が印象的であった。参加者の見聞を広め、今後の生涯学習に活かせる有意義な研修であったと思われる。

第2回の研修では、令和6年大河ドラマ「光る君へ」の舞台となった平安貴族の社会を支えていた「女房」についてお話を伺う。『源氏物語』を含め、王朝物語の主人公の多くは高貴な「姫君」たちであるが、実際に物語を書き、広め、享受していったのは、いわゆる「女房」階級の女性であり、平安時代のキャリアウーマン、「女房」の実態についてお話を伺う。



野外視察研修

6 文化祭

(1) ねらい

- ①東公民館を利用して学習するグループ及び東地区の地域団体が、日ごろの学習や活動の成果を発表する。
- ②東地区の地域団体との交流を深め、地域文化の向上を図る。

(2) 概要

事業名：第44回東公民館文化祭

会場：東公民館

(3) 内容

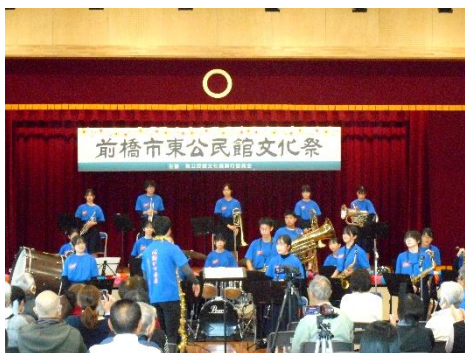
月日・時間	部門	学習主題・内容	人数
11/9 (土) 10:00～11:40	オープニング イベント	箱田中吹奏楽演奏、開会式典、上新田町太々神楽、フラ披露（ハーラウ・カウルプアナニ）育英短期大学あばれん坊太鼓・OG 友龍太鼓 4 団体 58 人参加	約 2,500 延べ来場者数
11/9 (土) 10:00～15:45 11/10 (日) 10:00～14:30	舞台発表	大正琴、フォークダンス（レクダンス）、詩吟、太極拳、ダンス、空手 社交ダンス、コーラス、ハーモニカ、ラウンドダンス、フラダンス、ウクレレ、カラオケ、体操等 21 団体 25 ステージ 延べ 245 人参加	
11/9 (土) 10:00～16:00 11/10 (日) 10:00～15:00	作品展示	歴史、水彩画、ペン習字、陶芸、短歌、鎌倉彫、レザークラフト、写真、生涯学習奨励員、等 13 団体 約 200 点出展 延べ 97 人参加	
11/9 (土) 10:00～16:00 11/10 (日) 10:00～15:00	室内催し	健康増進コーナー、資料配布（更生保護女性会）、手話体験会 3 団体 延べ 50 人参加	
11/9 (土) 10:00～15:00 11/10 (日) 10:00～13:00	屋外催し （ふれあい 広場）	各種団体模擬店、農産物直売、キーホルダー作り、ピンシヤン体操、試食配布等 13 団体 延べ 225 人参加	

(4) 評価と反省

関係団体の協力を得て、文化祭を盛大に開催できた。昨年に引き続き、駐車場は公民館内の駐車場のみとなったが、館報等で事前に周知したため、当日は大きな混乱なく終了した。

オープニングイベントでは、地元の中学校や短期大学の学生の出演、伝統芸能、華麗なフラなどバラエティに富んだ内容になり来場者を楽しませていただいた。舞台発表と作品展示では、参加を希望した自主グループが日頃の活動の成果を発表した。室内催しと屋外催しでは、各種団体等が出店して2日間とも賑わっていた。

子どもたちにも楽しんでいただけるように今回もスタンプラリーを実施したがとても好評で、初の試みであるキッチンカーの配車も喜んでくださり利用も多い印象であった。



オープニングイベント（箱田中吹奏楽演奏）



オープニングイベント（雷電神社太々神楽）



オープニングイベント（フラ披露）



オープニングイベント（育英短大和太鼓披露）



舞台発表（ストレッチクラブ）



舞台発表（修武館）



舞台発表（フォークダンス）



舞台発表（ウクレレ）



室内催し（手話体験）



作品展示（レザークラフト）



作品展示（交流スペース）



作品展示（陶芸作品）



ふれあい広場（フリーマーケット）



ふれあい広場（白バイ展示）



ふれあい広場（JAブース）



ふれあい広場（消防コーナー）

7 地域づくり推進事業の協力援助

(1) ねらい

地域文化の特色を思い、醸成された「共助」の良さを進め、和やかで心豊かな地域性を持続していくことを目的とする。

(2) 概要

東地区では、平成20年度に地域づくり協議会が設置され、地域づくり推進事業を行っている。現在は、福祉部会・文化部会・安全安心対策部会・公園愛護部会の4部会が設置されている。

(3) 事業内容

一昨年5月から新型コロナウイルス感染症が第5類に移行されたことに伴い、協議会事業も徐々にコロナ禍以前の活動を取り戻してきた。また、昨年7月には東地区の発展及び人材育成を目途として、東地区地域づくり協議会と群馬医療福祉大学とのあいだで、相互連携協力に関する包括協定が結ばれた。これに基づき、協議会活動はもとより各自治会単位の事業に於いても連携協力の動きが出てきた。

① 福祉部会

子育てサロン部門では少子化・核家族化による育児ストレスの解消を図り、地域全体で子どもを育てる取り組みのひとつとして「あずま子育てひろば」を、原則、毎月第四月曜日に東公民館ホールで開催した。

また、地区の高齢者生活支援を目的に、地域にある資源や困りごとを共有しながら解決策を見出すべく、東地区社協等とともに生活支援体制整備事業企画会議を随時に開催してきた。さらに12月2日には群馬医療福祉大学を会場に、東地区社協、包括支援センター東との共同事業として、担い手研修会を開催した。

② 文化部会

秋に一か月間開催された「ファミリーウォーキング」に伴い、コース上で「あずまかるたクイズ」を実施しその普及を図った。

また、地区内で美術等の自己研鑽に努めている人の発表の場として、2月9日から14日まで「第7回ふるさとあずま作品展」を開催した。今回も数多くの力作が集まり、参観者からも好評の声を聴くことができた。

③ 安全安心対策部会

東地区内の6土木業者と災害時における防災活動協力に関する協定を締結している。特に大雪（平成26年級）の時は地区内にある小学校の周りを中心に除雪を行う予定である。

また2月23日、東中学校体育館を会場に安全安心対策部会及び東地区社協との共同事業として、防災研修会（避難所開設訓練）を開催し、避難所備蓄資機材の運用や避難所運営の実際を学んだ。

④ 公園愛護部会

公園愛護部会は、東公民館に隣接して完成した東ふれあい公園を東地区全体で管理するために新設した。実際に活動を行うため、地区内全自治会や各種団体が東ふれあい公園愛護会を設立し、6月から11月の間、当番制で公園の草刈り等の活動を行った。また新たに群馬医療福祉大学が公園愛護活動に加わった。

8 情報発信事業

（1）公民館だより「あずま」の発行

①住民参加による館報編集委員6名の編集委員会を月2回開催し、館報裏面を作成している。

②館報は毎月1日発行。地域の人口増加に伴い毎戸配布（14,990部×12カ月）で年々増えている。

③表面は、公民館主催事業、地区内行事、各種団体行事、市事業案内などを掲載し、裏面は、編集委員の取材記事などを掲載する。

今年度は、4月号、東サービスセンター、東公民館、自主グループ、スポーツ少年団の紹介を掲載。5月号は東地区の写真（春のおとずれ）、6月号は、のびゆくこどものつどい、7月号は、ソフトボール大会を掲載。8月号は、私の戦争体験を再掲載。9月号は、敬老の日にあわせ地区内の元気な高齢者へのインタビュー記事。10月号は、子ども会スマイルボウリング大会、11月号は東公民館文化祭のプログラム、東地区市民運動会、12月、1月号は、文化祭の記事、東地区担い手研修会開催記事を掲載。2月号は、東地区の新成人からの抱負、東小学校創立150周年の記事を掲載した。連載記事として、空きスペースを利用し「東の地名」を掲載。地区内の情報を住民が興味を持つよう発信している。

(2) ホームページを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に東公民館のページを展開。施設概要の他、公民館主催事業、地区行事、市民サービスセンター業務などを掲載。

(3) 公民館内モニターにて来館者への情報提供

自主グループの活動紹介を兼ねて、文化祭の様子を上映。館内利用者へ周知を図った。



自主グループ活動紹介を兼ねた文化祭の様子を上映

《公民館 DX 事業》

東スマホ教室

(1) ねらい

- ① I T技術の進化による急速なデジタル化に対応するため、スマートフォンを学ぶ機会を設けることにより、デジタル・ディバイドを解消する。
- ②スマートフォンの活用により住民の利便性を高める。
- ③企業が行う社会貢献事業を積極的に活用する。

(2) 対象等

対象：東地区在住の住民

周知方法：館報に掲載

会場：東公民館第2・3会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/9(月) 14:00~16:00	スマートフォンの基礎 LINEの使い方	実習	ソフトバンク(株) スマホアドバイザー	17

(4) 評価と反省

今回の講座はスマホの初心者向けのものだったが、募集して2日ほどで定員に達するなど、関心の高さが伺えた。講座は、会議室のスクリーンにテキスト等を映し出して説明を行う講師が1名、全体を見回り参加者の個別の質問に答える講師が1名という体制で丁寧に研修を行った。スマホの持ち方といった初歩的なところから始め、最後はLINEのやり取りまで進め、一通りの使い方を十分ではないが自分のペースで学ぶことができたと思う。参加者のスマホを学びたいという熱意がひしひしと伝わってくるほどだった。これを機に、少しでもスマホに触れてもらい、スマホがさらに身近なものになればと思う。



東スマホ教室

9 各種団体事業の協力援助

主催	月日	事業内容	対象及び参加人数	会場
会 実 行 委 員	5/12（日）	第37回東地区のびゆくこども ものつどい並びに第24回東 地区ふれあいの広場	参加者、協力者 1,600人	東公民館 東ふれあい公園
子 育 連	4/20（土）	育成指導者初級講習会	育成会役員 他 32人	東公民館
	5/26（日）	スポーツ少年団体験教室	小学生 37人	大利根小 新田小学校
	6/8（土）	第30回スマイルボウリング 大会	小学生 146人 大人 38人	東小学校 新田小学校
	7/13（土）	インリーダー講習会 （マイ・タイムライン講習・ 地震体験車訓練）	小学生 5～6年生 73人	東公民館 南側駐車場
	10/1（火）～ 10/31（木）	ファミリーウォーキング	親子 173世帯	東地区内
	11/22（金）	上毛かるた講習会	本部・育成会役員 73人	東公民館
	11/25（月）～ 12/6（金）	書画展入賞作品展示	小学生 入選作品 絵画 18点 書道 47点	東公民館
	12/7（土）	親子手作り教室 （青少年健全育成会主催）	親子 106人	東公民館
	12/15（日）	第48回上毛かるた大会	小学生 128人	東小学校
自 治 会 連 合 会 ・ 体 育 協 会	5/19（日）	第55回男子ソフトボール大 会	221名	東中学校 箱田中学校 大利根緑地
	6/16（日）	第3回ソフトバレーボール 大会	213名	東中学校
	10/27（日）	第61回東地区市民運動会	1074名	箱田中学校
	11/24（日）	第3回スポーツ教室	中止	東中学校
	2/16（日）	第52回卓球大会	196名	東中学校
	3/1（土）	年間総合表彰式	40名	東公民館

老人クラブ連合会	5/23 (木)	第 10 回グラウンドゴルフ大会	東地区老人クラブ 連合会員 101 人	東ふれあい 公園
	7/22 (月)	第 3 回輪投げ大会	東地区老人クラブ 連合会員 76 人	東公民館
	11/18 (月)	第 27 回芸能発表会	東地区老人クラブ 連合会員 138 人 来賓 3 人	東公民館
青少年健全育成会	8/24 (土)	こどもを明るく育てる地区 別会議 ①少年の主張発表(東中・箱 田中学生徒) ②講演会 講師:群馬医療福祉大 大島由之氏	本部役員、地区内 小中学校長、自治 会長、子ども会育 成会役員など 102 人	東公民館
東地区社会福祉協議会	① 7/20 (土) ② 10/20 (日) ③ 1/19 (日)	東地区社協地域市民講座 ①孫と祖父母の料理教室 ②高齢者向け e スポーツ 体験講座 ③腰痛・猫背改善体操& ポールウォーキング講座	東地区在住の方 ① 17 人 ② 6 人 ③ 15 人	東公民館
	6 月～11 月 月 1 回 計 6 回開催	はつらつカフェ (健康講座) ①体メンテナンス講座 ②スマホ(LINE)基礎講座 ③タオルで筋力アップ体操 ④スマホアプリ使い方講座 ⑤腰痛・ねこ背改善体操 ⑥初心者向け将棋基礎講座	前橋市在住の方 ① 5 人 ② 7 人 ③ 25 人 ④ 21 人 ⑤ 20 人 ⑥ 6 人 計 84 人	東公民館

10 地元教育機関との地域連携事業の取り組み

東地区にある群馬医療福祉大学と前橋市は、教育研究や人材育成、地域防災など双方の有する資源を有効に活用し、様々な分野で連携協力していくため協定（包括連携協定）を締結しています。群馬医療福祉大学では、地域貢献活動・ボランティア活動からより学びに重点を置いた「サービ斯拉ーニング」という学習に取り組んでいるとのこと。

また、群馬医療福祉大学と東地区地域づくり協議会で連携協力に関する包括協定を令和6年7月11日に締結し、地域の健康増進、文化振興、防災等で、連携、協力して地域の発展及び人材育成を進めている。

今年度は小学生向けの「夏休みの宿題手助け教室」として、絵画の作成支援を実施した。群馬医療福祉大学の学生にもサポートしてもらうことで、学生と児童とのコミュニケーションが活発になり、講座を円滑に進めることが出来た。（13～14ページ参照）

また、東地区の小中学校5校との連携事業として、児童生徒の書道（令和7年1月31日～2月7日）及び特別支援教育の児童・生徒の作成した絵画等の作品（令和7年2月8日～14日）を館内住民交流スペースのパネルボード等に展示した。



東の会 児童・生徒作品



書初め 児童・生徒作品

11 公民館利用状況

令和6年度 団体別利用状況

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
公共 団体	件数	45	40	46	61	73	72	140	72	59	79	113	800
	人数	694	471	579	768	951	1,046	7,363	965	1,059	1,185	5,715	20,796
青少年 団体	件数	12	62	4	15	11	24	4	21	24	5	18	200
	人数	283	683	43	907	209	195	50	191	578	102	317	3,558
女性 団体	件数	11	4	8	10	4	9	6	12	7	7	8	86
	人数	183	68	138	272	65	115	108	155	97	110	123	1,434
成人 団体	件数	110	123	123	126	102	109	129	98	101	109	103	1,233
	人数	1,352	1,490	1,437	1,348	1,135	1,228	1,520	1,107	1,101	1,263	1,137	14,118
高齢者 団体	件数	6	1	1	2	1	1	4	6	1	2	1	26
	人数	116	16	16	96	2	15	40	165	16	32	16	530
主催 事業	件数	6	4	13	10	16	8	14	35	12	15	14	147
	人数	64	47	120	146	235	221	353	2,633	124	171	354	4,468
企業 その他	件数	115	100	113	114	100	127	127	141	131	138	113	1,319
	人数	1,123	864	1,222	970	1,109	1,522	1,162	1,687	1,123	1,218	961	12,961
合計	件数	305	334	308	338	307	350	424	385	335	355	370	3,811
	人数	3,815	3,639	3,555	4,507	3,706	4,342	10,596	6,903	4,098	4,081	8,623	57,865

令和5年度との比較（2月末現在）

	件 数	人 数
令和5年度	3,581	60,136
増 減 率	106.4%	96.2%

MEMO